

地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業) : 島根県雲南市

概 要

雲南市は、平成16年11月に近隣6町村が合併してできた人口約4万4千人の中山間に広がる地域であり、合併前のバス運行体制がそのまま引き継がれているため財政負担も大きく、サービスの地域間格差も生じている。今後は、一定の利便性を保ちつつ、経費削減に向けた効率的な運行サービスへの見直しを行う一方で、路線間の連携を強化して利便性の向上にも努めていく必要がある。また、広域バス路線とJR木次線との間で発生している部分的な競合の回避や広域路線における公平な料金設定等について調査検討していく。

○地域公共交通の概要

- ・4条バス路線(高速バス、大東線、だんだんタクシー)
- ・みなし4条バス路線(三刀屋出雲線、出雲根波線)
- ・78条バス路線(市民バス:24路線)
- ・専用スクールバス(大東地域、三刀屋地域、掛合地域) ・JR木次線

○地域公共交通の課題

- ・JR木次線との競合の回避
- ・地域内路線の効率化
- ・主要交通結節点の待合い環境向上
- ・広域路線と地域内路線との連携強化
- ・利用促進と利便性向上

○調査事業の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズの把握(アンケート調査・ヒアリング調査・バス乗り込み調査)
- ・便別利用実態調査
- ・デマンド型交通システムの可能性調査(吉田地域)

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想 (予定)

- ・市内広域バス路線の位置付けの検討とダイヤの見直し
- ・地域内バス路線の効率化(デマンド運行)と吉田地域へのデマンド型交通システム導入の検討
- ・わかりやすい公共交通情報の提供(時刻表の改良等)及び市内広域バス路線と地域内路線の結節点の環境向上に向けた検討
- ・観光振興に向けた公共交通の運行プラン(トロック列車との連携等)の検討
- ・公共交通の利用促進策(MMの推進、高校生の利用率向上)の検討

